

京都中央動物病院 村田 裕史

半導体レーザー治療に関して

①導入時期：

DVL-20 2011年6月

②よく使用する臨床内容と医学的評価、オーナー評価

皮膚腫瘍の局所麻酔でのレーザー削除、ICG（インドシアニンググリーン）を併用した腫瘍の蒸散、歯周病に対するレーザー治療、腫瘍症例に対するICG-Lipoの併用による光線温熱療法、口腔内腫瘍に対するICG併用による蒸散、高拡散プローブによる巨大腫瘍の凝固など。



③使用頻度：

平均週5～6回

④印象的な症例

印象的な症例としては、難治性の肛門周囲瘻をもつジャーマンシェパードにICGを塗布して、レーザー治療を複数行った症例です。この症例は、その後に再発がなく良好な状態を保つことができました。また、口腔内の巨大腫瘍で顔が変形するような症例であったのですが、局所麻酔で高拡散プローブを利用することにより、腫瘍の拡大を防ぎ、食欲を維持できた症例があります。

⑤採算に関して

当初、採算はとれないと考えながらレーザー治療に興味があるからと導入しました。日々、面白い、また、可能性があると感じながら症例を重ねていると、自然と採算がとれてきました。このレーザーはランニングコストが少ないところがポイントです。使えば使うほど採算がとれます。実際に、ランニングコストとしては、ICGのバイアルと、ブルーベアファイバーが少しずつ短くなるぐらいです。

⑥今後のテーマ

硬性鏡（AES-30A）を導入したため、今後は耳鏡下での腫瘍の蒸散などに、積極的に応用していきたい。

⑦他のユーザーへのコメント

DVL-20 は、様々な応用が可能です。ちょっとした腫瘍の処置や爪切除や軟口蓋過長症に対する手術などにも応用できます。また、腫瘍症例に対する ICG-Lipo の併用による光線温熱治療法なども可能性を感じる治療方法となります。まだ使いこなしているわけではないですが、導入することにより、治療や処置の幅が広がったと思っております。

特に最近、使用する機会が多いレーザー症例は、高齢犬の皮膚腫瘍です。高齢犬のほとんどは、心臓疾患や腎臓病、その他の慢性疾患を抱えている可能性が高く、全身麻酔のリスクが高くなります。このような症例に対して、自壊している皮膚腫瘍を放置することは、犬だけでなく、一緒に生活するご家族の QOL を大きく下げることになります。このような場面で、レーザーによる局所麻酔での切除は、飼い主様の非常に満足の高い選択肢となります。

病院及び Dr 紹介

京都中央動物病院

京都市下京区柿本町 582-3

<http://kyotochuoah.com/>

緊急疾患や重篤患者の診断と治療。軟部外科および整形外科など外科全般。

村田院長は、平成 27 年 4 月より京都市獣医師会理事並びに京都夜間動物救急センター運営委員会の運営委員長、また、平成 29 年 5 月より京都市獣医師会の副会長を務めております。そして、関西盲導犬協会の盲導犬、訓練犬やリタイア犬などの健康管理を担う、関西盲導犬診療チームに所属するなど、様々な人と動物の共生に関する活動に取り組んでいらっしゃいます。

京都市獣医師会 <http://www.kyoto-shiju.or.jp/>

京都夜間動物救急センター <http://kyoto99.net/>

京都中央動物病院 村田 裕史

病院概要：住所 京都市下京区柿本町582-3

電話 075-821-1020

獣医師紹介：院長 村田 裕史



レーザー治療に関して

- ① 導入時期： DVL-20 平成23年6月
- ② よく使用する臨床内容と医学的評価、オーナー評価
皮膚腫瘍の局所麻酔での削除、歯周病レーザー治療、腫瘍症例に対するICP-Lipoの併用による光線温熱療法、口腔内腫瘍に対するICG併用による蒸散。
- ③ 使用頻度
平均週3-4回
- ④ 印象的な症例
慢性化膿性炎症の犬で、病理所見では、真皮深層におちて好中球やマクロファージ、リンパ球、形質細胞等の浸潤が認められた。肛門周囲に多数存在する瘻管からの出血や排膿に対する処置として、ICGを塗布し、半導体レーザーで治療を実施した。レーザー治療合計4回実施し、治療終了から、約14か月経過し、良好な状態を保っている。
- ⑤ 今後のテーマ
硬性鏡（AES-30A）を導入したため、今後は耳鏡下での腫瘍の蒸散などに、積極的に応用していきたい。
- ⑥ 他のユーザーへのコメント
DVL-20は、様々な応用が可能です。ちょっとした腫瘍の処置や爪切除や軟口蓋過長症に対する手術などにも応用できます。また、腫瘍症例に対するICP-Lipoの併用による光線温熱療法なども可能性を感じる治療方法となります。まだまだ自分自身使いこなしているわけではないですが、導入することにより、治療や処置の幅が広がったと思っております。